

第 45 回霧ヶ峰自然環境保全協議会議事録（確定稿）

1 日 時

令和 7 年 3 月 6 日午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

2 場 所

諏訪合同庁舎 5 階 講堂

3 出 席 者

20 団体（31 名）

4 会議内容

開会

【事務局 忠地事務局長】

皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから、第 45 回霧ヶ峰自然環境保全協議会を始めさせていただきます。

私は本日の進行を務めさせていただく、本協議会事務局長の諏訪地域振興局環境課長 忠地でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、土田座長よりご挨拶いただきます。土田座長、お願いします。

【土田座長】

座長の土田でございます。本日は、お忙しいところ、また、昨日は雪が降りまして足元の悪いところご参集いただきまして、ありがとうございます。

当協議会では、霧ヶ峰自然保全再生実施計画などに基づき、今年度も外来種の駆除及び草原再生の作業を進めてまいりました。昨年度に引き続き作業ボランティアを募集し、多くの皆様方のご協力をいただきながら、無事作業を終えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本日の協議会では、本年度の事業報告とともに、来年度の計画案についても協議させていただきます。また、その他 3 つの報告事項が予定されています。皆様から忌憚のない意見をいただき、霧ヶ峰の保全・再生についてよりよい方向へ進めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局 忠地事務局長】

ありがとうございました。それでは、規約第 9 条に基づきまして、土田座長に議長をお願いいたします。

協議事項

（１）第 1 号議案「令和 6 年度個別作業及び電気柵設置作業の実施状況について」

【土田座長】

それでは、2 の協議事項に入ります。第 1 号議案「令和 6 年度個別作業及び電気柵設置作業の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局 山田主事】

(資料 1-1、1-2 により説明)

【土田座長】

ありがとうございました。今年度も多くの方々のご協力がございまして、外来種の駆除や草原再生の作業にお力添えいただきましてありがとうございます。ただいまの事務局からの報告に関しましてご質問ご意見等ございましたら、お願いいたします。

実際現地で携わっていただきまして、何か皆様からご意見等ございますでしょうか。ニッコウキスゲも電気柵を設置した場所はかなり回復してきているとのことでした。非常に好ましいことだと思います。電気柵の維持管理も大変だと思いますけれども、実際に関わる方は来年度もよろしくお願いいたします。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

ニッコウザザを今年も切ってますけれども、ニッコウキスゲを植えるために木を切っているんですか。

【事務局 山田主事】

ニッコウザザの刈り取りは、ニッコウキスゲを植えるためというよりは、ニッコウキスゲを含めた高山植物や希少な植物の生える多様性の高い草原を再生するために刈り取りをしている状況です。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

今までもニッコウザザを切って、ニッコウキスゲを植えるということを何年か前からやっていますが、結果はどうでしたか。これは私の推測だと、植えてもやっぱりササの地下茎で追われてあまり繁茂しないと私は思うけど、そこはどうなっていますか。

【土田座長】

これにつきまして、大窪先生何かご意見ございますか。その後モニタリングされておりますので、大窪先生の方からお願いいたします。

【信州大学 大窪教授】

協議会の事務局がやっている作業としては、ニッコウキスゲを植えるということはやってはおりません。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

やってない？

【信州大学 大窪教授】

はい、別の団体さんの方ではやっておられます。今ご報告いただいている中では、そういう手法

は使っておられないです。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

ニッコウザザって、いわゆるササね。昔からこれはあるし、本来在来のもので、ある意味でシカの真冬のエサにもなる。駆除するとはどういうものなんですかね。私は本来あるものはそのままにしておいていいと思うんですけど、そこを教えてください。ニッコウザザ、ササを駆除しちゃうという策ではないでしょ、切るだけだから。そうすると何が目的か正直私は分からない。最初はニッコウキスゲを植えるためにササを切るって以前はそう聞いた覚えがあるんですけど、今の話はそういうことは一切していないとすれば、ササを果たしてそこまで切る必要があるのかという疑問を感じますけれど、お願いします。

【信州大学 大窪教授】

座長さんから指名されたので回答しますが、ニッコウザザは自生の植物で、おっしゃるとおり霧ヶ峰にあっていい植物なんですけれども、かつて草原を利用する、草原の草を利用するためにニッコウザサも刈り取り、刈敷などには使われていて、そういう人の活動でニッコウザサと一緒に生えているマツムシソウやニッコウキスゲなど草原性の植物が維持されてきたという風に考えられているので、今刈敷を取るためにニッコウザサを刈り取るということが利用のためには必要がないので、なされていないので、それを少しの範囲だけでも復活させるということで、草原性の植物を保全するという意味でニッコウザザを刈り取るっていう作業を協議会の方ではやっておられます。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

ササっていうものは地下茎がものすごく発達していて、上をちょっと切っても、また翌年間違いなく出ます。私の庭に竹を植えたんだけど、頻繁に出てきて困るぐらい出てきますよ。上は綺麗でも地下茎がびっしりですからね。果たしてそういうことをしてそれで再生になるのかしらと。非常に労力をかけてそれだけの意義があることか。外来種っていうならわかりますよね。オオハングンソウとか、ああいうことなら理解しますけれど。在来種で昔からあるものは刈り取る必要はないと、私は。刈り取ってもそこにマツムシソウが増えるとか正直考えられないと私は思う。以上です。

【土田座長】

何か他にご意見ございますか。

【信州大学 大窪教授】

補足よろしいですか。ニッコウザザを根絶しようということではなくて、ニッコウザザの成長をある程度抑制するという、そういう目的で刈り取りをされています。そういうことを協議会の中でお認めいただいて、11年前から継続して、ある程度の草原再生の効果は一応データとしては見られています。以上です。補足でした。

【土田座長】

ありがとうございました。他に何か質問等ございますか。

(他に意見無し)

なければ協議事項第1号議案についてお諮りいたします。昨年度に引き続き、今年度も一般ボランティアを募集し、多くの方々に作業へご参加、ご協力いただきました。今年度の事業報告について事務局から報告ありましたとおりとしてよろしいでしょうか。皆さんから何かご意見ございますでしょうか。特にご意見、異議等ございませんでしたので、このとおりご承認いただいたということにいたします。ありがとうございました。

(2) 第2号議案「令和7年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組(案)について」
「令和7年度個別作業計画(案)について」
「令和7年度電気柵等の設置(案)について」

【土田座長】

続きまして、第2号議案 令和7年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組等3案について、事務局から説明をお願いします。第2号議案については一括してご意見等を受けたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【事務局 山田主事】

(資料2-1、2-2、3、4により説明)

【土田座長】

ありがとうございました。ただいま第2号議案につきまして事務局より説明をいただきました。ご意見ご質問等ありましたら、お願いいたします。令和7年度の事業計画ということでございます。

何かご質問、ご要望等含めてございますか。看板の掛け替え、修繕等の提案も出ております。例年どおりの個別採用計画案の日程等も出ております。

何かご質問、ご意見、ご要望ございますでしょうか。

(意見無し)

特にご意見ないようですので、令和7年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組等3案を提案のとおりとしてよろしいでしょうか。異議なしということでご承認いただいたものと存じますので、よろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございました。全ての案の、案という文字を削除願います。

霧ヶ峰自然保全再生実施計画に基づいて、来年度も引き続き多くの作業が予定されております。その他にも継続する事業、構成団体独自の事業など多くの計画があります。構成団体の皆様には、様々な面でご協力いただくとしますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、来年度も一般ボランティアを募集し、多くの方々の力を結集して霧ヶ峰の自然再生を進めてまいりたいと思いますので、積極的にご参加いただきますようご協力をお願いいたします。

報告事項

(1) 八島ヶ原湿原の雑木処理について

続きまして、3 報告事項に入ります。報告事項(1) 八島ヶ原湿原の雑木処理について下諏訪町産業振興課からお願いします。

【下諏訪町産業振興課 藤森氏】

(資料5により説明)

あともう一点、ちょっとこの件ではないんですけども、当町で「ヒュッテみさやま」さんの近くに御射山のトイレを設置させていただいておりますが、そこがだいぶ老朽化をしているというところとか、汲み取り式ということもありますので、匂いがだいぶ上がってきってしまうというところで、来年度そちらを解体する方向で今準備をさせていただいております。

解体後につきましては今まだ協議をしておりますが、仮設トイレをその近くに設置をして、利用者に不便をかけないようにさせていただくと思っておりますので、春先というか、ゴールデンウィーク前ぐらい着手したいということで準備をしておりますので、そちらも併せて共有させていただきます。ありがとうございます。

【土田座長】

ありがとうございます。ただいま八島高原の園地の景観、園地からの湿原景観に関しての、伐採を昨年11月に行われ、その後報告でございます。何かご質問ご意見ございますか。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

昨年春先に見たら非常に繁茂していた、八島のところね。それで私が諏訪の環境課の課長さんをお願いしたんですけど、予算が下りないということで、県会議員の宮下克彦さんに協力してもらいました。それで一応、予算が下りてやってくれて、本当にありがとうございました。

ただ問題はね、今年はこれでいいですよ、今みたいにね、シカよけの柵を今までどおりにしておけば、これ何年かしてまた同じことを繰り返します。それで地球温暖化しているんだから森林化は止められないことは事実なんですけどね。

あの柵を何とかしないとね、何年かしたらまた同じ繰り返し、それ以上に自然の環境はしっかり変わっちゃってると思います。本来シカに食われて、今回だって柵の中シカが入ってくれば自然に広葉樹が食べられて本来の草原になるはずなんです。それについて私以前からここで言ったんですけど、たまたま県の環境保全研究所の尾関さんっていう方が、私と同じような考え方を持っているから、尾関先生のご意見を聞かせてください。

【土田座長】

何かご意見ございますか。

【環境保全研究所 尾関氏】

座長からご指名いただきましたのでコメントさせていただきます。八島ヶ原湿原のシカ柵について

は皆さんもご存知のとおり、2010年から2011年にかけて設置されましたので、おおよそ全周を囲ってから14年目になっている状況です。シカ柵っていうのは本来湿原植生を保護するために設置された訳ですけども、一方でやはりシカっていう動物そのものはどちらかというと森林を疎林や草原に変えていく生態系影響が強い動物ということもありますので、この八島ヶ原湿原以外の場所で言えば、どちらかというと森林植生の保護とか回復にもやはりシカ柵は使われるようなところが、場所によってはある訳です。そうしたことを考えますと、シカ柵を設置したことによって長期的に見ればやはり植生変化、特に樹林の回復といいますか、そうしたことが起こる可能自体は私もあるだろうなと思います。それは今ご発言いただいた飯田さんと、特に方向としては私も同じ考えです。

ただし、そのことと、今すぐシカ柵を撤去して元に戻さないといけないかっていうのはちょっとまた別の問題でして、シカ柵を設置した2010年、2011年頃っていうのは、今の霧ヶ峰のシカの生息状況からすると2分の1から3分の1ぐらいの密度しかシカがいなかった状況ですので、現状で外してしまいますと、湿原を守るために柵を設置しようという決めた当時よりもかなり多くのシカが周辺に生息してしまっていて、また改めて一気に湿原の方に入り込んだ状況が生まれる恐れがあります。ですから、シカ柵を設置してその植生の推移を当然注目して、我々としても見ていきたいなと思っているんですけども、それと併せてシカの生息状況、どれぐらいコントロールできているかっていうのに応じてシカ柵に戻していったらいいかっていうのを別途考える必要があるんじゃないかなと思っています。コメントになりますけれども以上です。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

あのね、いいですか。シカが以前から増えているのは事実です。過去の歴史を見れば、シカは増えたり減ったりしながら、言わば霧ヶ峰の草原の維持役になっていたことは紛れもない事実ですよ。今の柵は十数年前だったけれど、設置するかっていうのが突然出てきて、林野庁が環境省から700万とか800万円の補助金が下りることになりましたと。ついては作りたいと。それまではそういう話とはっきり言って全く聞いてなかったんですけどね。突然何かお金が下りる、補助金が下りるってことで、付けることになったんですけどね。それを聞いて私はいずれ壊れちゃうからいいと。

敢えて言わせてもらう。ナイロンでできているから、簡単にちぎれないですね。それでね、妥協策として倒れたらほったらかしとくっているのも一つの考えだと一時思ったんですけどね。

ただ、今のまま放っておけばシカ柵の内と外じゃ全然植物相が変わっちゃう。これはある面一種の自然破壊ですわ。本来自然っていうのは基本的にあるがままに任せておくっていうのが私は基本だと思います。人工的なものを作るのが果たして本当にいいのか。私はできたら撤去してほしい。できないなら倒れたらほったらかしておくということです。結果的には今尾関さんがおっしゃったようにシカの入ってくる量を減らすってこと。増やすなり、ある一定量に保つなら半分撤去しないでもいいけれど、倒れたら倒れっぱなしにしておくのも一つの考えかなと思います。撤去するとべらぼうに金がかかるんですよ。またね。そう考えたらね、敢えて壊れたら壊れたまま放っておいてというのも考え。

それから絶滅危惧種の植物があるかってことを前々回あたり質問したんですけどね。ヒオウギアヤメがあるって突然言い出して、当時はそんな話は聞いてませんでした。だから囲うとしてもあそこまで囲う必要は私はないと思う。それで、シカの糞がいっぱい散らばっていて汚いってことで、以前言われたことがあるけれど、シカが多ければ当然そうなりますわ。シカにとっても大事な水場ですか

らね。水場があればトイレがある。シカの糞なんてどこ行ったっていっぱい散らかっていますわ。数多ければいっぱい出るわ。糞が出るのは止めようがないです。そう考えたらね、シカに荒らされるのも自然の一環だと考えてほしいと私は思います。以上です。

【土田座長】

他の方々のご意見ございますか。

湿原の周りにシカ柵を設置することによってどうなったか、実態的な調査はまだ十分行われておりませんし、その影響、悪影響あるいは両方の影響を含めて検討すべき問題があると思いますので、できましたら、何らかの形で調査等を含めて検討することがあってもいいのではないかと思います。また、事務局の方がご検討頂ければと思いますけれど。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

いや、いいですか。撤去って実際非常に難しいと思う。だから、今のままにしとけば、あと10年、20年、30年、50年したら全然変わりますよ。八島は草原の中にある湿原だけど、密林帯の中にある池と全然違いますよ。これはある面で自然破壊ですよ。そこをわかってください。だからね、今まで何度も言ったんだけどね。今はいいやってなってますけど、まあ弊害。何事もいいことも悪いこともあるんです。何したって。今はいいけど、あと10年もしたらまた同じこと言って木を切ることになります。本来あそこは特別保護地区ですから木を切るのは禁止されているんですよね、確か。文化庁の許可がなければ切れないんだよね、あれね。そう考えたらね、やっぱりそれは本来の形に戻すことを強く主張しますし、どうしてもできないならば、柵が倒れたらほったらかしておくのが次善の策でいいと思いますけどね。それも考え方だと言えます。以上。

【土田座長】

そういうお考えもあるということは承知いたしました。

他の方もいろいろお考えがあると思いますので、何らかの形でまた見直しというのか検討する機会を持ちたいと思いますので、よろしく願いいたします。関連して次の議題に行きますが、報告がございます。今の件に関しましては終了させていただきます。

（２）八島ヶ原湿原におけるニホンジカの侵入状況について

【土田座長】

続きまして、報告事項（２）ニホンジカの侵入状況調査の結果報告につきまして、信州大学の瀧井先生からお願いします。

【信州大学 瀧井助教】

（資料６により説明）

【土田座長】

どうもありがとうございます。また、調査大変ご苦労様でした。貴重なデータをいただきましてありがとうございます。何かただいまのご説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いいた

します。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

中にシカがいるって言いましたけど、先程、シカはオス、メス集団で動くのは原則。じゃあ、あのシカは何なんですか。迷い込んだじゃったってことでしょ。柵の中に入っちゃって出られないだけのことでしょ。中にシカってことは。

【信州大学 瀧井助教】

去年入った親子のシカですか。そうですね。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

そうでしょ。動物界とすれば、本来ありえないわけですから。動物園の柵にいるシカと同じでしょ。そうですね。そうでしょ。だけど、それは自然保護に関心のある人たちは少し疑問に感じませんか。本来群れで生活すべきが、いわば檻の中に入っちゃって、出られなくているんですよ、あのシカの親子は。違いますか。

【信州大学 瀧井助教】

柵の外でも親子だけ2頭連れというのはいます。シカも本来群れる動物なので、柵の内側と外側でコミュニケーションをとったりとかはありますけれども、柵を作ると中に入ってしまう想定にはなるので、シカにとっては1日も早く出たいという。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

出たいでしょうね。そういうことになりますよね。あのね、柵をすることは自然界を荒らしているんですよ。いわば中に入ったので、動物園の檻の中の動物と同じ立場なんですよ。それでニッコウキスゲが繁茂してきたから、これは自然保護だって、とんでもないことですね。ニッコウキスゲもヤナギランも生えたって、あれははっきり言って雑草に近い。希少種ではありません。ヤナギランなんて、埼玉県に行けば、絶滅危惧種ですよ。この辺だと雑草扱い。ニッコウキスゲなんてそれは観光的には貴重かもしれないけれど、絶滅危惧種とは違います。それがでてきたからってね、柵をしたことによって自然、植物が復活することは結構なことじゃありません。そうでしょ。

【信州大学 瀧井助教】

柵を張ると、柵の内側はシカの採食圧を受けていない植生になっていて、外側は今シカが高密度な状態で八島湿原はいますので、柵の外側の植生っていうのはシカが作り出した植生。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

そうですね。自然界っていうのはいろいろ、こう絡んでいる訳でね。シカが一方向的に害するかって、それが自然の構成員でもあるんですよ。ネズミはだってそれなりに一員であってね。それを柵しちゃうこと自体が既に不自然な、半自然的な行いなんですよ。それをいつまでもさ、あなたその、これを見て、これを研究しますって言うけどね、はっきり言ってこれ、お宅のね、マニユアのね、ただ

論文を書きたいだけです。はっきり言って。

【信州大学 瀧井助教】

一つ言わせていただきますけど、こちらの調査はシカの侵入状況を調べて欲しいという依頼を協議会から受けて、私がやっているもので、決して論文を書くためとかではありません。私の専門は季節移動とかクマの生態なんかをしていますので、そちらの方で今論文を書いていますので、決してこれを自分の学術的な報告を増やすためにこういうことをしてるという訳ではないので、その辺ちょっと語弊があるかと思います。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

でも、シカ柵があることは非常に肯定しますよね。いつもまでも永遠と、できたらもっと頑丈にした方がいいって以前言いましたよね、あなた。

【信州大学 瀧井助教】

柵の機能を維持するためには、シカを侵入させないための努力が人間側で必要だという風に私は言っております。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

その結果、中に入っちゃったから出られなくて困ってるシカもいるんですよ。はっきり言って困ってる。群れに帰れなくて。そうでしょ。そうですよ。以前から作ったときも入り込んだシカがいました。結局ね、何かの拍子に入っちゃって出られないんですよ。出られたら出ちゃいますわ。それを考えたら、あの柵はね、あなたもね、動物愛護の気持ちがあるんだったら柵を撤去することも真剣に検討してください。以上。

【土田座長】

一つのご意見としてお伺いいたしました。もともと八島の湿原を保護、保全するということで、湿原植生にどの程度影響があるかということが、最大の課題でありまして、その湿原の周りの植生云々に何らかの影響、または、シカが湿原の植物そのものよりその周辺の植物を採食するというようなことの方がむしろ多いのではないかと思います。むしろ湿原は踏み荒らしとかですね、糞とかそういうことも影響の方が多いいのではないかと、私は今まで 10 年間ばかり調査をやった結果から考えておりますけれど。先程も申し上げましたように柵の件につきましては何らかの形で検討する機会を持ちたいと思いますので、またその点ご了解いただければと思います。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

検討しますって言うけどね、それは検討でいつもお終いになっちゃうんだなあ。だからもう、一度作っちゃって壊せないっていうのはおそらくどの業界でもあることですけれどね。10 年以上試して、はっきり言って弊害が私多いと思います。それでね、シカが食べるだけしかってね、動物だって昔からの生き物ですしね、そう考えたらね、食害自体を否定することはできませんわ。数は確かシカは以前、少なくなったり増えたりの繰り返しですから、あと 10 年もしたら自然に増えることがあるかも

しませんが、それはわからないんですよ。ただ、地球温暖化していく以上、森林化が止められないことは紛れもない事実ですけど、人工的に森林化を促進しちゃいけないことは私は何度もしつこいけど言われてもらいます。

それから話がちょっとずれるんですけど、シカはササを食べますよね。さっきのササを切るくらいだったら、シカに冬の食料として残してやったっていいじゃないですかね。私はそう思います。以上。

【土田座長】

一つのご意見です。一応承りました。その他何かご質問ございますでしょうか。

(その他意見無し)

瀧井さん、どうもありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

(3) 霧ヶ峰におけるモニターツアーの実施について

【土田座長】

続きまして、報告事項(3)霧ヶ峰におけるモニターツアーの実施について諏訪地域振興局環境課から説明をお願いします。

【諏訪地域振興局環境課 北岡主査】

(資料7により説明)

【土田座長】

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

これはいつ頃実施されるんですか。

【諏訪地域振興局環境課 北岡主査】

現在予定をしておりますのは、初夏と秋口の2回で予定できればと思っています。

【土田座長】

初夏頃予定されておりますので、皆様方よろしければご協力等お願いいたします。

他に何かございますでしょうか。

(その他意見無し)

(4) その他

【土田座長】

なければ報告事項(4)その他に移ります。諏訪市教育委員会からご報告があるとのことですのでご説明をお願いいたします。

【諏訪市教育委員会 中島係長】

諏訪市教育委員会 中島と申します。昨年、前回の6月の協議会で報告をさせていただきました、冬季における車山湿原内への立入につきまして、その後の経過をご報告させていただきます。

6月の協議会で看板の設置についてご意見ご要望をいただきました。このたび車山の登り口付近に大型の天然記念物説明版がある横に、冬季でも湿原範囲内には立ち入らないようにと呼びかける注意看板を設置いたしました。板面の内容につきましては、霧ヶ峰保護センター様にご協力いただきまして、センター様との連名で設置をさせていただきました。設置場所につきましては、地権者様で霧ヶ峰高原牧野農業協同組合様、霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合様にご相談をさせていただきました。それでは場所の方を決めさせていただきました。自然保護センター、両牧野組合の皆様にはこの場をお借りして改めて御礼を申し上げます。また、手続きについて振興局の方にもいろいろご指導いただきまして、ありがとうございます。また、内容につきましては、協議会でもご意見ありましたように、車山湿原の指定範囲がどこからどこまでなのかということを明示されたものが現地になかったということが問題であったという風に私ども認識しておりますので、看板の方に範囲のイメージを掲示させていただいたところです。予算の都合で今回は1基だけの設置になりますけれども、今後も少しずつですが、看板の更新や設置について取り組んでいきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

【土田座長】

先日の新聞にも取り上げられていましたけれども、何かご意見、ご意見等ございますでしょうか。なかなか対応が難しいと思いますが、冬季で現地に何度も入る訳にもいきませんし、ご苦労だと存じます。関係者の方々、ご協力、ご対応をお願いしたいと思います。

何か他の団体さんからもご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(意見等無し)

実際、具体的に言うと、どこから入ってどういうルートで湿原の中に入っていくかということがわからないですが、一般的には、山頂のリフトを下りて下っていくコースが多いんじゃないかと思えます。ですので、前にも同じことを申し上げましたけれども、ぜひスキー場の方でもアナウンス等で注意喚起をしていただければと思っておりますので、もし関係する団体等ございましたらその点をよろしくお願いいたします。

他になれば、事務局の方から何かございますか。

(事務局から意見等無し)

では、他にご意見等がなければ報告事項については以上とさせていただきます。その他、協議事項に限らず、ご意見、連絡事項等ございましたら、お願いいたします。何か連絡事項等、各団体さんから全体を通して要望、ご意見、ご質問がありましたら。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

ちょっとこれ、自然保護とは直接関係ないですけど、今日牧野組合や財産区の方大勢いらっしゃるんですけど、これは私の個人の感想ですけど、確かカラマツなんか植えてありますけれど、確か70年、80年昔に国の補助金をもらって植林したんですよ、確かね。もうぼちぼち切る時期になって、今お金になると思います。私の同級生は上桑原牧野組合の会員で、小さいころ山に行って植えたそうです。それが今になって切ってほしいそうです。できたら霧ヶ峰地区に限らず、特に霧ヶ峰地区の国定公園内、当時は特別保護地区でなかったから、植樹は当然できたんですよ。今はっきり言って植物は結構お金になると思います。それで、本来今はちょうど切ってお金に還元する時期だと思います。ぜひ伐採考えてください。これは私の個人的な気持ち。私の知り合いってというのは、上桑原牧野組合にいて、やっぱり結構な面積切ったそうです。それで、結構伐採する会社があるんですってね。結構お金を取られちゃうけど、組合員で切ることはできないから、結構なお金が入ってきたそうです。それを考えたら、決して自然破壊ではありません。本来の目的とすれば、切ってお金に換えてください。それが全てうまくいくと思います。以上です。

【土田座長】

牧野組合さん、特にございますか。

【上桑原牧野農業協同組合 有賀組合長】

上桑原牧野農業協同組合の有賀です。実際、今5地区の持っているところは、森林整備っていうのは不可能だと思います。というのは、お金がっていうのは、去年、一昨年まではカラマツとかそういう伐採で収益上がった部分あるんですけども。

霧ヶ峰の高原の方に行くと、まず県で杉ははっきり言って失敗したなということは聞いております。うちらでいうと開拓より上の部分です。それで、御柱になるシラビソとかあっても、みんな道を開けないと無理なんで。その意見はわかりますけれども、それをやれといっても組合ではやっぱり動けませんので、環境課の方と林務課で対応をお願いしたいなと。

【霧ヶ峰を愛する会 飯田氏】

検討してくださいと言っているだけです。

【土田座長】

他に何かございますか。事務局から何かございますか。

(事務局から意見等なし)

【土田座長】

本日全ての議題、報告は終了とさせていただきます。スムーズな会議の進行にご協力いただき、ありがとうございました。次回の開催予定について、事務局からお願いします。

【忠地事務局長】

土田座長様、ありがとうございました。次回は6月12日（木）に開催を予定しております。場所は本日と同じく諏訪合同庁舎になります。また、「霧ヶ峰草原再生協議会」の第12回通常総会も同日に開催したいと考えておりますので、予めご承知おきください。日程が近づきましたら、改めて皆様にご連絡させていただきます。

【土田座長】

ありがとうございました。ただいま事務局より次回開催については、6月12日（木）に諏訪合同庁舎にて開催したいとの提案がありました。また、草原再生協議会通常総会を同日に開催することですので、会員の皆様はご出席をお願いいたします。

次回の協議会が開催される頃には来年度の個別作業、電気柵設置作業の募集が開始していると思います。皆様のご協力を重ねてお願いします。

【忠地事務局長】

土田座長、ありがとうございました。長時間にわたるご討議お疲れ様でした。以上をもちまして、第45回霧ヶ峰自然環境保全協議会を終了します。ありがとうございました。

閉会